

共に語る不妊

～テーマは**家族**～

「不妊を経験して、私たちは本当の夫婦になれた気がします」

「子どもがいないと、本当の家族とはいえない」

うへは、いずれも不妊を体験した当事者の語りです。

私たちは、不妊という「からだの現象」をどう捉え、どう対処すればよいのでしょうか？

これまで、病、障がい、自然現象、アクシデント＝「まるで事故にあったようなもの」など、ひとによって不妊現象の捉え方は“まちまち”でした。しかし、その“まちまち”がひとたびカップルや家族関係にあるとすれば……。子どもをのぞむカップルにとって、不妊は家族の大切なテーマなのです。

第16回 TOFF セミナー「共に語る不妊」では、“テーマは家族”と題して不妊を再考します。テーマにまつわる対話からは、参加する方々がそれぞれに抱える問題解決の糸口がきっと見つかるはずです。

不妊にまつわる課題や問題を参加者全員でともに対話する場—これが、TOFFセミナーです。セミナーでは、多様な参加者を歓迎いたします。当事者・医療者・援助者の枠を超え、共に不妊を語りましょう。日常生活や医療現場では語りきれない不妊、それが TOFF セミナー参加者共通のテーマです。

当日は、医師、男女心理士の3名のスタッフが皆さんのお越しをお待ちしています。

ご案内

日 時 : 2009年 10 月 31 日 (土) 13:00~16:00
テーマ : 共に語る不妊 ~テーマは家族~
場 所 : 立命館大学 立命館アカデミア@大阪 (淀屋橋) 2・3F
〒541-0041 大阪市中央区北浜 3-1-18 島ビル 5・7F

淀屋橋駅 14 番出口上がる

参加費 : 無 料 (不妊に悩む方とその関係者。不妊治療前・中・後の当事者
および医療者、援助者。定員あり。お申し込みはお早めをお願いします)

申し込み : 氏名、性別等を明記してお申し込みください。なお、メッセージ等
ございましたらご記入ください (報道関係の方はその旨事前にご連絡い
たいただきますようお願いいたします)

主 催 : 生殖医療対人援助研究会 (通称 : TOFF 研究会)

共 催 : 立命館大学人間科学研究所

★ 参加お申し込みのみなさまへ★

TOFF 研究会では、心理士と医師が同席のうえ「パーソナルカンファレンス」(無料) を設けて
います。不妊治療中のセカンドオピニオンも可能です。また、援助者のための事例検討会も企画
中です。詳細はメールでお問い合わせください。

ご希望のかたは、【TOFF のメールアドレス宛、氏名・年齢・性別・相談のポイント】等ご記入の上、
お申し込みください。後日詳細を連絡させていただきます。

参加申込・お問い合わせ等まずはメールで TOFF@hotmail.co.jp まで

なお、セミナーでは、医療者を含む援助者の方々の参加を歓迎しています。

不妊現象・・・そこに何が起きているのか、それをどう理解し、どんな援助が必要なのか、を医療
者・援助者が当事者と共に語り、協働してその解決の道を探しましょう。毎回セミナーでは、ご参加
皆さんによる、【活発な意見交換の場】が展開されます。医療現場ではなしえない、【医療者・当事者
の枠を越えた】さまざまな視点からのディスカッションを交わしましょう。そこでは、皆が互いの援
助者です。当日は、1Fエレベーター前に案内掲示があります。皆様のご参加をお待ちしております。

生殖医療対人援助研究会 (通称 : TOFF 研究会)

ホームページ <http://toff.site-station.net/index.html>

生殖医療対人援助研究会（TOFF）

Think Our Family & Future

TOFF 研究会(Think Our Family & Future)とは？

目的： いま、生殖医療が提起する諸問題は、社会に大きな波紋を投げかけています。医療現場では、不妊治療を選択した当事者カップルとディレンマを抱える医療者たち（医師・看護師・培養士・スタッフ）が、その困惑の中で不妊治療に臨んでいるのが実際です。研究会では、現役の医療者たち、心理士、当事者（個人・カップル・その家族）等全ての関係者のインターフェイスの視点でつくる「臨床の場」で、それぞれに必要な援助を探求し、各自の専門性を活かした支援を統合し体系化することを目指します。不妊治療の現場で発生する諸問題・抱える課題の解決に向けて、連携と協働により「子どもの誕生を願い不妊治療を選択する当事者カップル」への必要な援助を模索し、新しい生殖医療のひとつのモデルを創造することが本研究会の目的です。

テーマ： 不妊カウンセリングを含む、対話による生殖医療の実践。当事者・医療者・心理士の協働する生殖医療システムの構築。

TOFF 活動内容

定例会： 当事者からの意見や提示された問題、医療者の直面するディレンマ、そして実際の医療現場で起こっている諸問題、更には生殖補助医療の抱える問題点と今後の課題の全てに対し、「提起された課題」として、当事者・医療者・心理士の協働で検討しその解決を目指す。

場所： 立命館大学 立命館アカデミア@大阪（淀屋橋）

〒541-0041 大阪市中央区北浜3-1-1 8島ビル5・7F

06-6201-3610（代表）

交流会： 当事者の皆さんが集い、様々な情報交換ができる場を提供いたします。他にも、所属を超え「生殖医療対人援助の構築を求める医療者」のための意見交換の場を設けます。開催される全ての交流会では、講演形式にとどまらない「直接の相互対話」によって、互いに抱える課題解決の糸口を協働で目指しましょう。

他にも、体系化した生殖医療の対人援助学習会の開催や、公開シンポジウム等を企画予定。

TOFF コンセプト

TOFF は生殖医療に関わる、全ての皆様に解放された研究会です。研究会は当事者・心理士・医師・看護師・培養士で構成されます。各自の所属を超え、個の尊重とプライバシーの遵守、また相互援助の協働と関係性の確立の上に、生殖医療が提起する社会問題を含む様々な課題に取り組みます。入会は、「不妊治療前・中・後の当事者またはカップル、もしくはその家族」。心理士・カウンセラー・相談員等の職務にあり、「不妊心理の援助」と「医療者との協働」を目指す心理職者。医師・看護師・培養士等の生殖医療関係者や、「対話による医療」に関心をお持ちの医療者および研究者の参加も歓迎します。

研究会では、中心に「医療の主体である当事者カップル」が位置し、その「選択と決定」を医師・看護師・培養士・心理士が協働し、各自の専門能力を統合した援助で支える医療モデル共同体を形成します。参加者の専門性が反映し統合された「生殖医療における対人援助」を探求し、現行の医療システム導入を目標とします。参加者は、それぞれの専門領域で「援助を必要とする」もしくは「必要な援助をする」ことを課題に、相互理解と連携に基づく新しい医療モデル構想の実現を共に目指します。

主 宰 : 荒木晃子 (立命館大学衣笠総合研究機構客員研究員)

協同研究者: 藤田圭以子 (医師)・大村昌弘 (心理士)

協力研究者: 内田昭弘 (医師)・永島百合子 (認定看護師)・市原次郎 (医師)

参加申し込み・お問い合わせ : TOFF@hotmail.co.jp 荒木まで